要点審議事業一覧表

番号	県名	事業名			事業計画等の変化			投資効果の変化								前回評価における費用便益比 【 】は純便益(B-C) 単位:億円		事業進捗の見込み	地方公共団体等の意見	対応方針
		港名	プロジェクト名	前回評価(年度)	対象施設	施設規模(総延長)	変更内容	全体事業費		残事業		主な変化要因	主な便益		主な変化要因					
								今回(億円)	前回(億円)	今回(億円)	前回(億円)		今回	前回		全体	残事業	変化の可能性		(原案)
1	青森	八戸	八太郎・外港地区防波堤整備事業	H23	防波堤 岸壁(-14m) 航路・泊地(-14m) 臨港道路 ふ頭用地	4,490m 280m 149ha 195m 9.3ha	―	1,164	1,164	85	117	―	①ニッケル鉱石・石炭　300万トン ②コンテナ　15,400TEU ③避泊隻数　7隻	①ニッケル鉱石・石炭　300万トン ②コンテナ　15,400TEU ③避泊隻数　7隻	―	2.1 【2,710】	4.0 【283】	平成30年度 完了予定	事業継続の対応方針(原案)案について異論はございません。 なお、事業の執行にあたっては、引き続き、一層のコスト縮減に努めて頂くとともに、更なる事業進捗を図ってくださるようお願いいたします。	事業継続
2	山形	酒田	外港地区国際物流ターミナル整備事業	H23	防波堤 岸壁(-14m) 航路・泊地(-14m) ふ頭用地等 臨港道路	2,560m 280m 72.8ha 9.3ha 470m	―	777	779	100	153	・浚渫方法の変更よる減	①コンテナ　18,000 TEU ②原塩　8.7万トン ③避泊隻数　4隻	①コンテナ　8,315TEU ②原塩　9.3万トン ③避泊隻数　4隻	①,②背後企業へのヒアリングにより貨物需要の見直し	1.7 【1,063】	10.7 【1,301】	平成31年度 完了予定	酒田港の外港地区国際物流ターミナルは本県において国際コンテナ貨物や大型船舶を利用したバルク貨物を取扱う重要な物流拠点です。そのため、冬季でも安全・安心な荷役作業を行うことができ、大型船舶を利用できる港湾施設の整備は必要不可欠です。 また、平成25年3月に策定した「第3次山形県総合発展計画短期アクションプラン」においても、酒田港の物流機能の強化は主要事業としており、当該事業を継続され、早期完成を目指し、着実な予算の確保をお願いします。	事業継続
3	福島	相馬	3号ふ頭地区国際物流ターミナル(耐震)整備事業	H23	防波堤 岸壁(-12m)(耐震) 岸壁(-10m) 泊地(-12m) 泊地(-10m) 臨港道路 護岸 ふ頭用地 荷役機械 上屋	600m 240m 170m 18ha 22ha 1,030m 719m 16ha ― ―	― ― ― ― ― ― ― ― 整備計画削除 整備計画削除	310	291	40	51	・港内消波工の追加 ・事業計画見直しによる荷役機械と上屋の削除	①石炭、石灰石、化学工業品　42.6万トン ③震災時に取り扱う貨物　35万トン ④避泊隻数　3隻	①鋼材、ソーダ灰、完成自動車　5.2万トン ②コンテナ　7,590TEU ③震災時に取り扱う貨物　12.3万トン ④避泊隻数　3隻	①,②,③背後企業立地による計画貨物配置の見直し	2.0 【 428】	2.5 【85】	平成32年度 完了予定	対応方針(原案)については、異議ありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するとともに、緊急物資輸送の機能を確保するため、早期完成に努めてください。 また、県の費用負担に対する全面的な財政支援と、事業が完了するまでの安定した予算の確保をお願いします。	事業継続
4	福島	小名浜	本港・東港地区防波堤整備事業	H23	防波堤	2,000m	―	806	806	351	369	－	避泊隻数　10隻	避泊隻数　10隻	－	1.7 【 846】	5.4 【1,030】	平成40年度 完了予定	対応方針(原案)については、異議ありません。 なお、小名浜港周辺海域を航行する船舶の安全性の向上を図るため、早期完成に努めてください。 また、県の費用負担に対する全面的な財政支援と、事業が完了するまでの安定した予算の確保をお願いします。	事業継続